

コンブ干し体験記

以前から一度はやってみたいと思っていたコンブ干し。ご実家がコンブ漁などを営んでいる須崎議員（会派紬）にお願いし、ついに実現しました。

文責：鈴木一彦



並べ終えた長コンブ。しばらく天日干しにします。

7月22日（金）晴れ。午前9時過ぎ、漁を終えコンブを満載したトラックが干場に到着。いよいよ作業開始です。

トラックから降ろされたコンブがほどかれ、それを干場に並べていきま

す。「慣れないうちは、片手に2本ずつ持つとやりやすいよ」とのアドバイスを受け、その通りやってみ

てみました。それでも、とれたてのコンブは水分も多く、なかなかの重さ

です。一定の場所まで運んだら、一枚一枚重ならないように並べます。こ

れがなかなか難しい！慣れているみなさんは、女性の方も、私より

高齢の方も、当然私より多くのコンブを運び、「昨日のコンブよりも良いね」などと会話しながら、手際よく並べます。さすがです！

一定程度水分が抜けたら、「まん棒」と呼ばれる1m半位の長さの棒にコンブをまとめ（主に女性の仕事）、それを肩に担いで乾燥庫に運びます

（主に男性の仕事）。全て運び終えた時点で私の仕事は終わり。12時半近く

になっていました。お昼ごはんにいただいたおにぎりがとってもおいしかった！

作業を経験して コンブ以外の漁は、通常、獲ってきた魚をそのまま、もしくは多少の下

処理をして市場に卸しますが、コンブの場合は採取後、乾燥から圧縮、裁断など、言うなれば『加工屋さん』の仕事まで漁師さんが担います。

実際に経験して、本当に大変な仕事だと実感しました。特にいまは燃油の高騰で、なおのことご

苦勞されていると思います。コンブ漁師のみなさんとご家族のみなさんが私たちの食卓を支えていることにあらためて感謝

広がる感染——新型コロナナ あらためて対策の徹底を！

新型コロナウイルス感染症は、全国で感染が広が

り、「第7波」といわれています。根室市でも、連日、10〜30人規模の感染が報告されています。

感染拡大を防ぐために、政治が果たす役割は重要ですが、いま一度、私たち一人ひとりができること、やるべきことを見直す必要があると考え

ます。学校が夏休みに入り、全国的には8月のお盆で人の移動が活発になると予想されます。

あらためて「手指消毒」「マスクの着用」「換気」「距離を保つ」などの、個人でできる対策を徹底

しましょう。特に「手指消毒」は重要です。公共施設や商業施設などの入り口に設置されている消毒薬は、入退室の際に積極的に活用しましょう。あなたと、あなたの大切な人を守るために。